

受託僅少項目の自社検査中止による 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の受託件数が僅少であることから、自社検査を中止することとしましたので、取り急ぎご案内いたします。

リウマチ因子(RAPA)、ICGにつきましては再委託での受託継続に伴う検査内容変更を、尿中HCG半定量につきましては代替項目をご案内させていただきます。

また、リウマチ因子(RAPA)の代替項目である抗CCP抗体につきましては、自社検査を開始いたしますので、併せてご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査内容変更

- [3710] リウマチ因子(RAPA)
- [5900] 抗CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)
- [4500] ICG

■変更期日

- 2015年7月21日(火)受付分より

■検査中止項目

- [2288] 尿中HCG半定量
代替項目:[2250] ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)<尿>

■最終受付日

- 2015年7月18日(土)

※ご案内の詳細は裏面をご参照下さい。

■検査内容変更

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
94	3710	リウマチ因子※ ¹ (RAPA)	所要日数	3～6日	2～3日
			基準値	陰性(40倍未満)	40倍未満
			検査場所	エスアールエル(→5)	自社
94	5900	抗CCP抗体 (抗シトルリン化 ペプチド抗体)	所要日数	1～2日	3～5日
			検査方法※ ²	CLIA法	CLEIA法
			追加可能日数	7日間	15日間
			報告下限値	0.5	0.6
			報告上限値	1999.9	9999
			検査場所	自社	エスアールエル(→5)
132	4500	ICG	検体量	血液 各3mL ↓ <input type="checkbox"/> 遠心 血清 各1mL※ ³	血液 各6mL ↓ <input type="checkbox"/> 遠心 血清 各2mL
			所要日数	3～5日	1～2日
			検査場所	LSIメディエンス(→1)	自社

※1:リウマチ因子の測定試薬に変更はございません。

※2:抗CCP抗体における新旧二法の相関は、3頁をご参照下さい。

※3:総合検査案内22頁掲載「ICGの検体採取方法」の採血量も変更となります。4頁をご参照下さい。

■変更期日

●2015年7月21日(火)受付分より

■検査中止項目

頁	項目コード	検査項目名	備考
-	2288	尿中HCG半定量	受託僅少による自社検査中止 代替項目:[2250]ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)<尿>※ ⁴

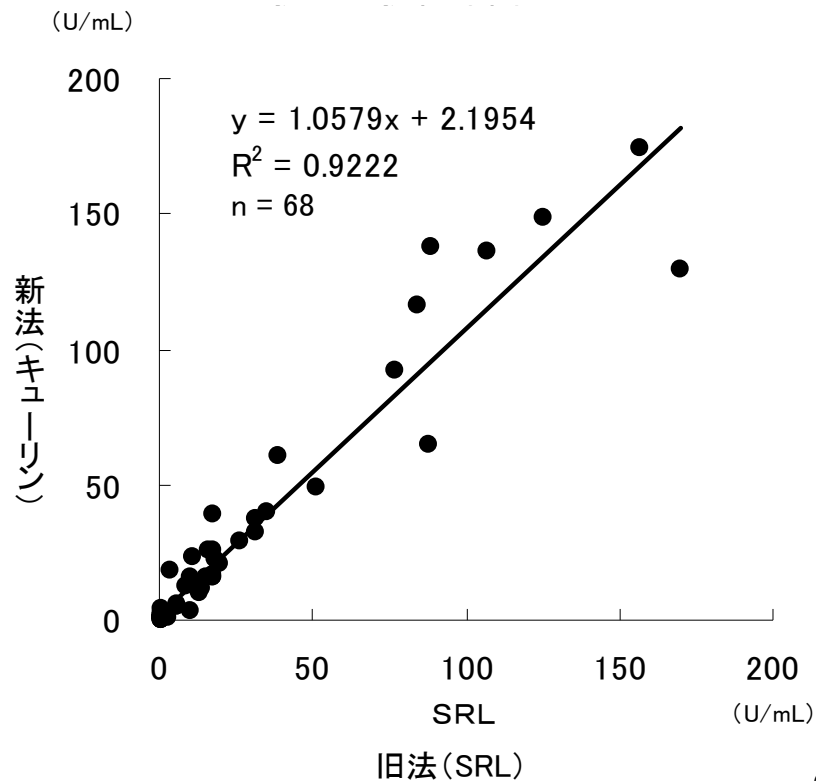
※4:代替項目の検査要領は4頁をご参照下さい。

■最終受付日

●2015年7月18日(土)

抗 CCP 抗体

■新旧二法の相関



(自社検討データ)

■判定一致率

－: 陰性、+: 低力価 (4.5~13.5)、++: 高力価 (13.6 以上) n=68

		旧法 SRL			
		－	+	++	計
新法 キユーリン	－	23	1	0	24
	+	0	5	1	6
	++	1	1	36	38
	計	24	7	37	68

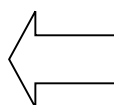
	一致率			
	－	+	++	計
キユーリン	95.8%	71.4%	95.8%	94.1%

旧法 (SRL) を対照とした場合の、偽陰性率 4.3%、偽陽性率 2.3%

ICG

■ICGの検体採取方法

変更後
1) 対照として早朝空腹時に採血して下さい。 2) 次に、溶血を避けて血清分離して下さい(B ₀ :対照血清)。 3) ICG試験薬25mgを無菌蒸留水5mLに溶解し、体重10kgにつき1mLの割合で正確に静脈注射して下さい。 4) 注射後15分に注射時と反対側から <u>3mL</u> 採血し、溶血を避けて血清分離して下さい(B ₁)。 5) 以上のようにして得た血清(B ₀ 、B ₁)を4～6℃にて暗所に保存し、所定量を提出して下さい。
一般的留意事項 1) 検査は早朝空腹時(不可能な場合は、これに近い状態)に実施し、注射後の採血終了まで被検者を安静仰臥させて下さい。 2) 被検者に肥満、浮腫、腹水を認める場合のICG注射量は、標準体重から計算して下さい。



変更前
1) 対照として早朝空腹時に採血して下さい。 2) 次に、溶血を避けて血清分離して下さい(B ₀ :対照血清)。 3) ICG試験薬25mgを無菌蒸留水5mLに溶解し、体重10kgにつき1mLの割合で正確に静脈注射して下さい。 4) 注射後15分に注射時と反対側から6mL採血し、溶血を避けて血清分離して下さい(B ₁)。 5) 以上のようにして得た血清(B ₀ 、B ₁)を4～6℃にて暗所に保存し、所定量を提出して下さい。
一般的留意事項 1) 検査は早朝空腹時(不可能な場合は、これに近い状態)に実施し、注射後の採血終了まで被検者を安静仰臥させて下さい。 2) 被検者に肥満、浮腫、腹水を認める場合のICG注射量は、標準体重から計算して下さい。

下線部が変更箇所です。

ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)〈尿〉

尿中HCG半定量の代替項目として、Information No.14-140a(山)※5にて検査中止をご案内した[2250]ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)の委託先を替えて(SRL→LSIメディエンス)受託いたします。

項目コード	2250
検査項目名	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)〈尿〉
検体量	尿 0.4 mL
容器	Y9
保存(安定性)	冷蔵(12週)
所要日数	3～5日
実施料/判断料	146点
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
検査方法	FEIA
基準値(単位)	右表参照
備考	妊娠の有無、妊娠週数を必ずご記入下さい。 LHとの交差反応率は、「HCG」において0.7%以下、「HCG-CTP」では0.018%です。
検査場所	LSIメディエンス(→1)

ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG) 基準値

		尿 (mIU/mL)	
男性		2.5 以下	
女性(非妊婦)		2.5 以下	
妊娠	～ 6週	1,100	～ 62,600
	7 ～ 10週	1,800	～ 191,000
	11 ～ 20週	3,100	～ 125,000
	21 ～ 40週	1,400	～ 29,400